

【解答用紙】

1

H24A

3	2cm
---	-----

2

H21B(3)

式 $120 \div 3 = 40$ $40 \div 2 = 20$	答え  20 cm
---	-----------------

説明 紙の横の長さは120cmです。

(例)

円が横に3つならんでいるので、 $120 \div 3 = 40$ で、直径の長さを求めました。

半径の長さは直径の半分なので、 $40 \div 2 = 20$ で半径の長さを求めました。

だから、半径の長さは20cmです。

3

H20

2
---

4

H23 府調査A

ア	1	①	3
---	---	---	---

5

H26A(1)

式 $6 \times 3.14$	答え $18.84\text{cm}$
-------------------	---------------------

6

ワークブック円周③

(1)	式 $10 \times 3.14$	答え $31.4\text{cm}$
(2)	式 $7 \times 2 \times 3.14$	答え $43.96\text{cm}$
(3)	式 $20 \times 3.14$	答え $62.8\text{m}$
(4)	式 $20 \times 2 \times 3.14$	答え $125.6\text{cm}$

【解答用紙】

7

H22A

(1)	1	(2)	4
-----	---	-----	---

8

単元別テスト「円周」

(答え) 2 回転

(理由)

**例1:** 回転する円がどれだけ回転するかは、回転する円の中心が動いた距離で考えなくてはなりません。

よって、外側の円は、半径 2cm、すなわち、直径 4cmの円の円周を動いたこととなります。

$$4 \times 3.14 = 12.56(\text{cm})$$

これを円の円周でわると

$$12.56 \div (2 \times 3.14) = 2 \text{ よって2回転です。}$$

**例2:** 例えば、100円玉の円周の半分の距離を直線上で転がすと、その100円玉はその地点では逆さに向いている。しかし、実際の100円玉の円周の半分の地点では、直線上での半分進んだ状態から180°向きを変えなければならない。つまり、100円玉の円周の半分すんだとき、その位置での100円玉は1回転していることになる。

その同じことが、残りの半周分で起こるので、100円玉のまわりを1周すると、2回転する。

ポイントは、回転する円が、ちょうど半分まで来たときに、1回転していることを表現できていること。

9

単元別テスト「円周」

(1)

直線部分は  $3 \times 2 = 6$  6cm

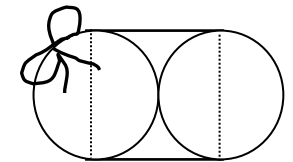
円周部分は半円2つで1つの円になる。

$$3 \times 3.14 = 9.42$$

$$6 + 9.42 = 15.42$$

結び目の10cmをたす。

$$15.42 + 10 = 25.42$$



答え

25.42cm

(2)

直線部分は  $3 \times 4 = 12$  12cm

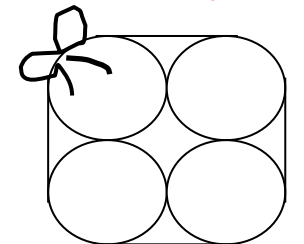
円周部分は4すみの部分4つ分で1つの円になる。

$$3 \times 3.14 = 9.42$$

$$12 + 9.42 = 21.42$$

結び目の10cmをたすと

$$21.42 + 10 = 31.42$$



答え

31.42cm